

『肝炎医療コーディネーター』を中心とした 院内ウイルス性肝炎陽性者拾い上げについて

健生病院 副院長
健生消化器センター センター長
千葉 大輔



CO I 開示

発表者名: 千葉 大輔

**演題発表に関連し、開示すべきCO I 関係にある
企業等はありません。**

緒言①

- わが国におけるB型肝炎・C型肝炎の感染者はあわせて300万人を超えており、ウイルス性肝炎は国民の健康に関する重要な問題である。
- ウイルス性肝炎は自覚症状に乏しく、自らの感染に気付きにくく、その一方で肝硬変や肝がんといった重篤な疾病への移行率も高い。
- すべての国民が一生に一度は肝炎ウイルス検査を目標に、検査体制の整備・検査費用の助成が都道府県および市町村で実施されている。
- 各自治体では肝炎ウイルス検査の陽性者に対して受診勧告とともに専門医療機関での初回精密検査および定期検査費用の助成を行なっている。



単純CT



動脈相



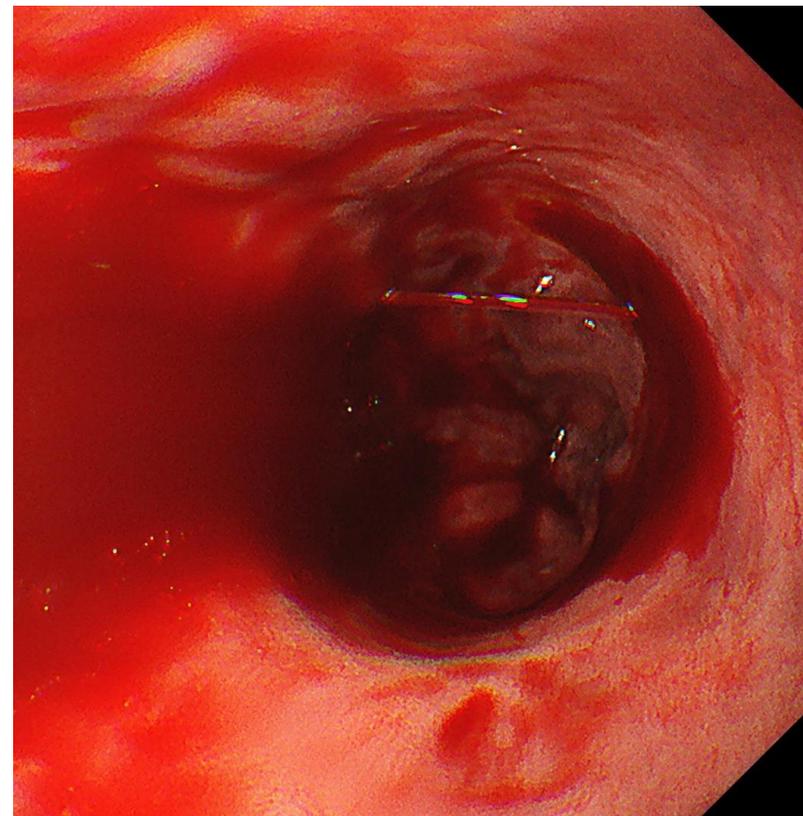
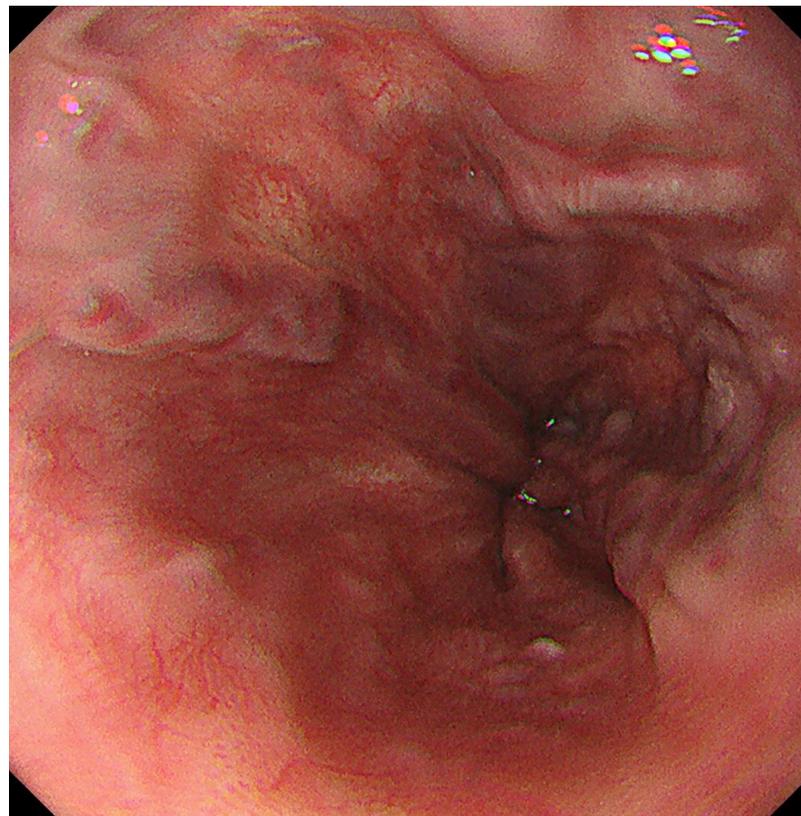
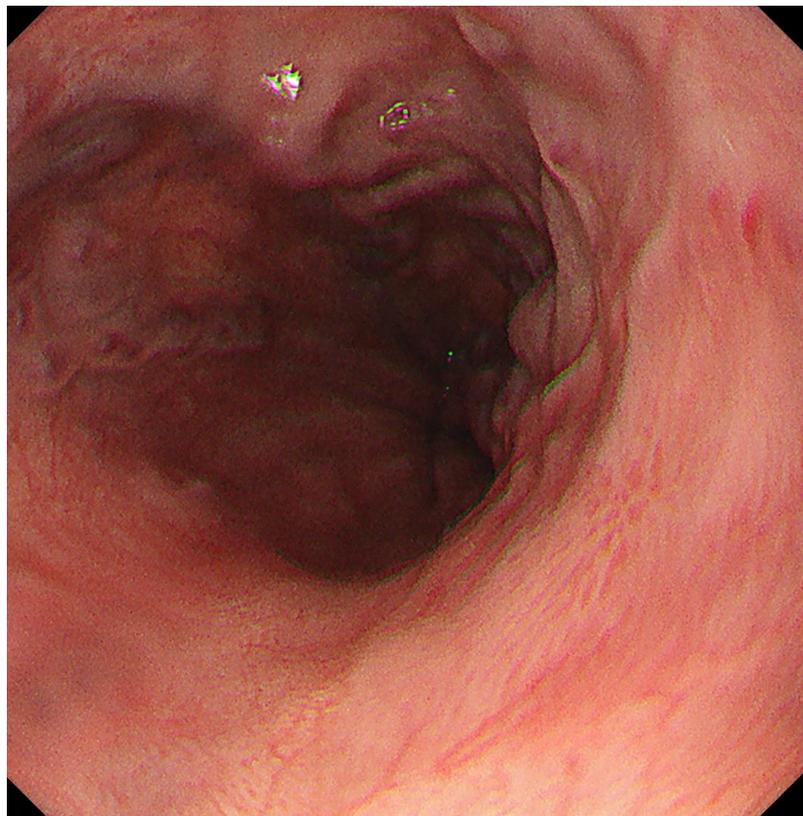
wash out

平衡相

肝細胞癌 CT画像

C型肝炎 未治療症例

演者作成



食道静脈瘤 破裂画像

肝硬変症例

演者作成

青森県の肝炎ウイルス関連の助成について

初回検査、定期検査、治療に関連した幅広い助成制度がある

	初回精密検査 費用助成	定期検査費用 助成	肝炎治療費 助成	肝硬変・肝がん 医療費助成
対象者	自治体検査、職域検査、妊婦健診、手術前検査で陽性	肝炎ウイルス治療の助成を受けておらず定期検査を受けている方	HBV・HCV に対して行われるIFN治療及びIFN free治療	B型肝炎・C型肝炎が原因の肝硬変・肝がん
備考	助成回数1回まで 陽性者フォローアップ事業に同意が必要	非課税世帯・市町村民税課税年額235,000円未満 1年度2回まで (超音波検査、CT検査、MRI検査含む)	自己負担額 市町村民税課税年額235,000円以上20,000円 市町村民税課税年額235,000円未満10,000円	世帯年収約370万円以下であること 都道府県知事が指定する「指定医療機関」での治療

青森県の肝炎ウイルス初回精密検査助成について

助成対象となる検査項目

	B型肝炎ウイルス	C型肝炎ウイルス
血液形態・機能検査	末梢血液一般検査、末梢血液像	
出血・凝固検査	プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン時間	
血液化学検査	総ビリルビン、直接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、ALP、ChE、 γ GTP、総コレステロール、AST、ALT、LDH	
腫瘍マーカー	AFP、AFP-L3分画、PIVKA-II	
肝炎ウイルス関連検査	HBe抗原、HBe抗体、HBVジェノタイプ判定	HCV血清群別判定
微生物核酸同定・定量検査	HBV核酸定量	HCV核酸定量
画像診断	超音波検査（断層撮影法（胸腹部））	

青森県の肝炎ウイルス関連の助成について

現状では問題点・課題もあると思われる。

	初回精密検査 費用助成	定期検査費用 助成	肝炎治療費 助成	肝硬変・肝がん 医療費助成
対象者	自治体検査、職域検査、妊婦健診、手術前検査で陽性	肝炎ウイルス治療の助成を受けておらず定期検査を受けている方	HBV・HCV に対して行われるIFN治療及びIFN free治療	B型肝炎・C型肝炎が原因の肝硬変・肝がん
備考	助成回数1回まで 陽性者フォローアップ事業に同意が必要	非課税世帯・市町村民税課税年額235,000円未満 1年度2回まで (超音波検査、CT検査、MRI検査含む)	自己負担額 市町村民税課税年額235,000円以上20,000円 市町村民税課税年額235,000円未満10,000円	世帯年収約370万円以下であること 都道府県知事が指定する「指定医療機関」での治療

青森県の肝炎ウイルス関連の助成について

現状では問題点・課題もあると思われる。

	初回精密検査 費用助成	定期検査費用 助成	肝炎治療費 助成	肝硬変・肝がん 医療費助成
対象者	自治体検査、職域検査、妊婦健診、 手術前検査で陽性	肝炎ウイルス治療の助成を受けておらず定期検査を受けている方	HBV・HCV に対して行われるIFN治療及びIFN free治療	B型肝炎・C型肝炎が原因の肝硬変・肝がん
備考	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんはいつ検査しているかを知らない 入院時・内視鏡前検査として実施されていることも多い 	非課税世帯・市町村民税課税年額235,000円未満 1年度2回まで（超音波検査、CT検査、MRI検査含む）	自己負担額 市町村民税課税年額235,000円以上20,000円 市町村民税課税年額235,000円未満10,000円	世帯年収約370万円以下であること 都道府県知事が指定する「指定医療機関」での治療

青森県の肝炎ウイルス関連の助成について

現状では問題点・課題もあると思われる。

	初回精密検査 費用助成	定期検査費用 助成	肝炎治療費 助成	肝硬変・肝がん 医療費助成
対象者	自治体検査、職域検査、妊婦健診、 手術前検査で陽性	肝炎ウイルス治療の助成を受けておらず定期検査を受けている方	HBV・HCV に対して行われるIFN治療及びIFN free治療	B型肝炎・C型肝炎が原因の肝硬変・肝がん
備考	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんはいつ検査しているかを知らない 入院時・内視鏡前検査として実施されていることも多い 	非課税世帯 ・市町村民税課税年額 235,000 円未満 1年度2回まで（超音波検査、検査、MRI検査む）	自己負担額 市町村民税課税年額235,000円以上20,000円 市町村民税課税年額235,000円未満 所得制限があり、多くの方が利用できない	世帯約年収370万円以下 であること 都道府県知事が指定する「指定医療機関」での治療

青森県の肝炎ウイルス関連の助成について

現状では問題点・課題もあると思われる。

	初回精密検査 費用助成	定期検査費用 助成	肝炎治療費 助成	肝硬変・肝がん 医療費助成
対象者	自治体検査、職域検査、妊婦健診、 手術前検査で陽性	肝炎ウイルス治療の助成を受けておらず定期検査を受けている方	HBV・HCV に対して行われるIFN治療及びIFN free治療	B型肝炎・C型肝炎 が原因の肝硬変・肝がん アルコール性、脂肪肝関連は適応されない
備考	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんはいつ検査しているかを知らない 入院時・内視鏡前検査として実施されていることも多い 	非課税世帯 ・市町村民税課税年額 235,000 円未満 1年度2回まで（超音波検査、MRI検査利用できるとは言えないむ）	自己負担額 市町村民税課税年額235,000円以上20,000円 市町村民税課税年	世帯年収約370万円以下 であること 都道府県知事が指定する「指定医療での治療

青森県の肝炎ウイルス関連の助成について

現状では問題点・課題もあると思われる。

青森県庁ホームページより一部抜粋して演者作成

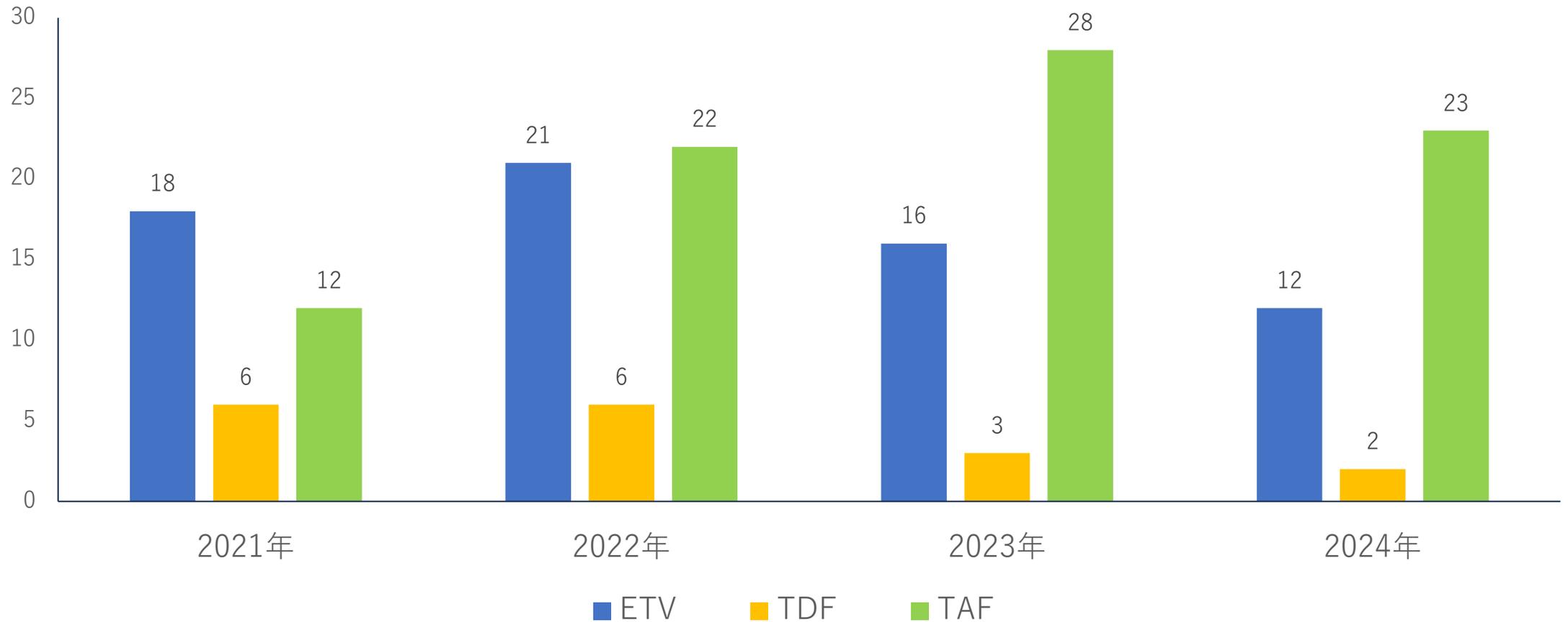
	初回精密検査 費用助成	定期検査費用 助成	肝炎治療費 助成	肝硬変・肝がん 医療費助成
対象者	自治体検査、職域検査、妊婦健診、 手術前検査で陽性	肝炎ウイルス治療の助成を受けておらず定期検査を受けている方	HBV・HCV に対して行われるIFN治療及びIFN free治療	B型肝炎・C型肝炎 が原因の肝硬変・肝がん アルコール性、脂肪肝関連は適応されない
備考	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんはいつ検査しているかを知らない 入院時・内視鏡前検査として実施されていることも多い 	非課税世帯 ・市町村民税課税年額 235,000 円未満 1年度2回まで（超音波検査、検査、MRI検査含む）	自己負担額市町村民税課税年額235,000円以上20,000円 所得制限があり、多くの方が利用できない	世帯年収約370万円以下 であること 都道府県知事が指定する「指定医療での治療

助成制度の適応の拡充が望まれる（医療機関でも推奨しやすい方が良い）
 制度を分かりやすく受診者へ広める必要あり（肝炎医療コーディネーターの役割が大きい）

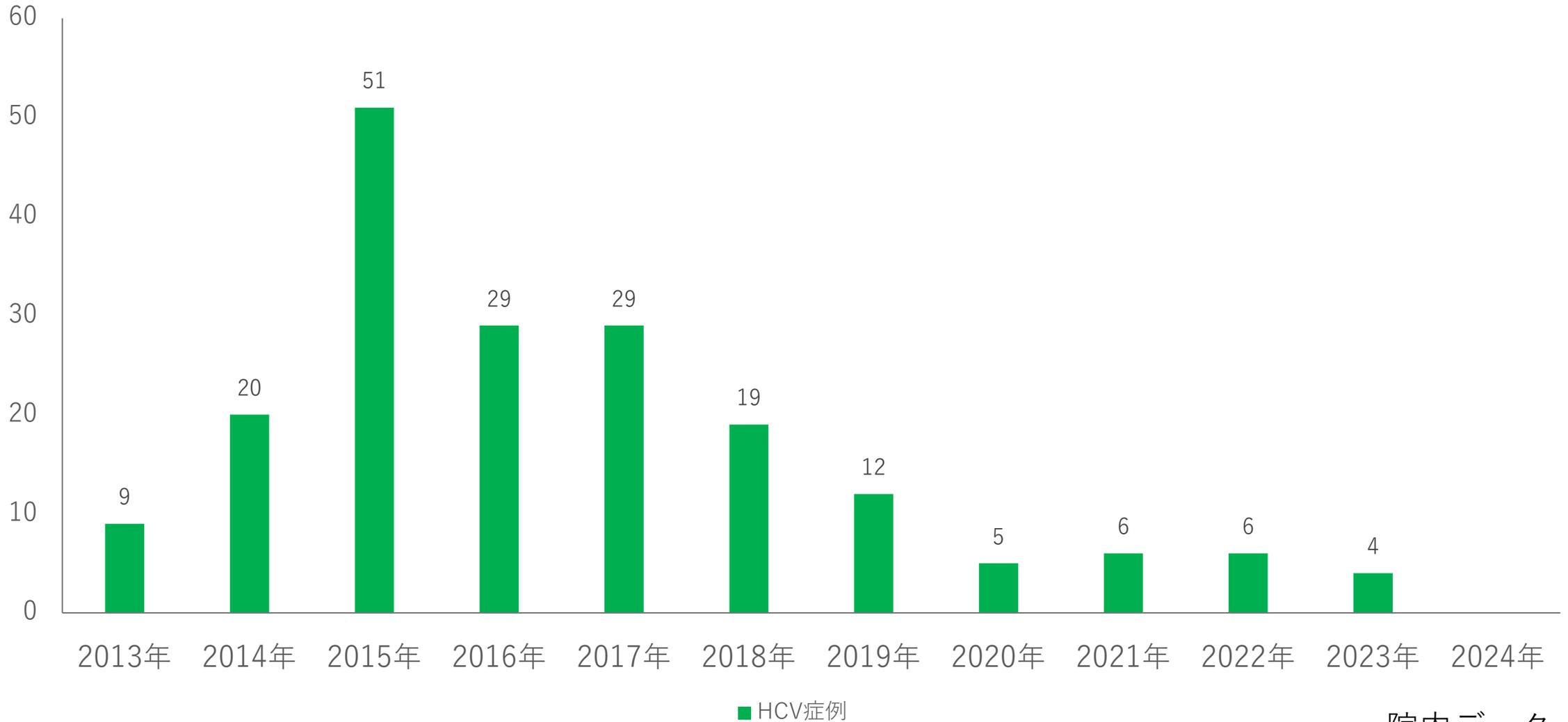
緒言②

- 近年ではC型肝炎ウイルスについては直接作用型抗ウイルス薬 (DAA)の登場により、8~12週の治療で**ほぼ100%のウイルス排除 (SVR)**が得られるようになった。
- B型肝炎ウイルスについても核酸アナログ製剤によりほとんどの症例で血中ウイルスを検出感度未満までコントロール可能となった。
- 一方で当院では入院時や内視鏡・手術前にスクリーニングとして肝炎検査をおこなっているものの、**いまだに医療者側の予防対策としての意味合いが強く**、検査結果説明や陽性者への適切な介入は行われていなかった。

健生病院 HBV治療症例数



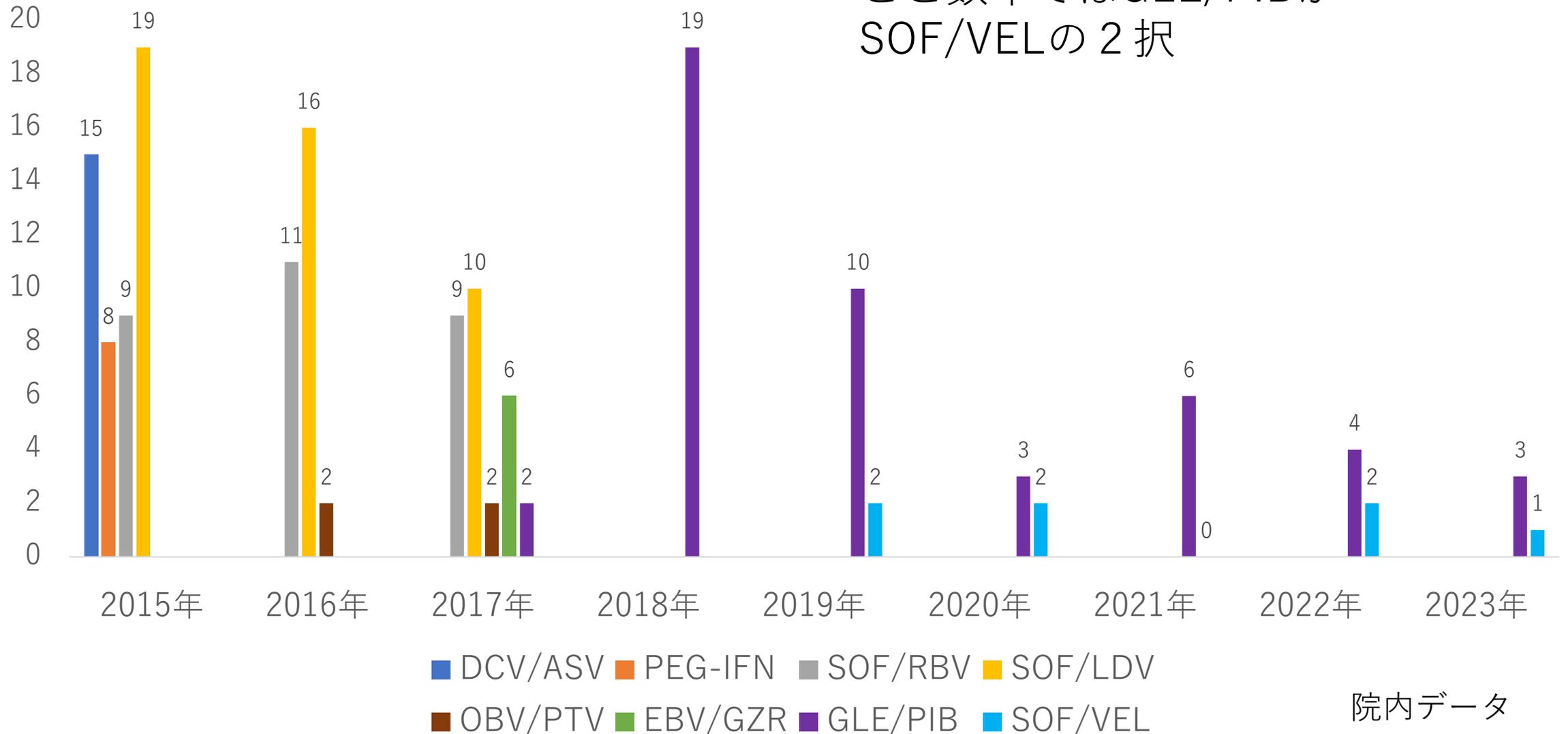
健生病院 HCV治療症例数



院内データ

DAA 年別使用頻度

ここ数年ではGLE/PIBか
SOF/VELの2択



2016年にC型肝炎の院内拾い上げについて
提案しましたが・・・

院内の拾い上げを
始めましょう！！

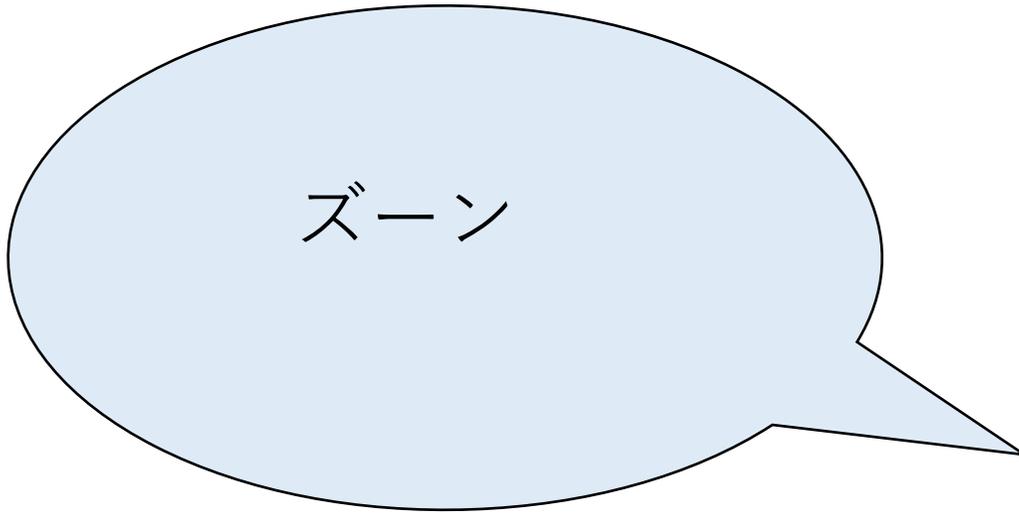


2016年にC型肝炎の院内拾い上げについて
提案しましたが・・・

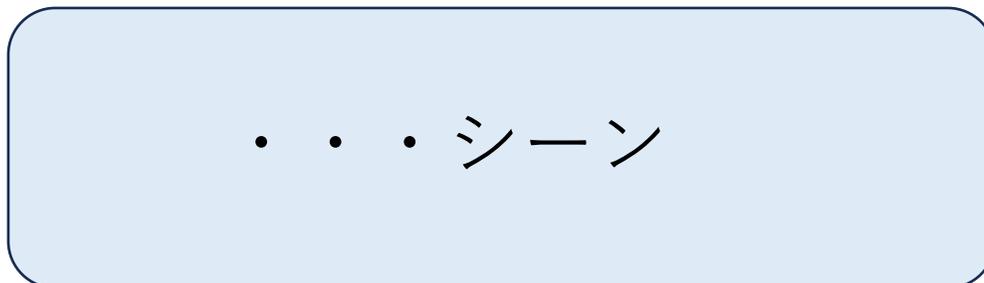
・・・シーン



2016年にC型肝炎の院内拾い上げについて
提案しましたが・・・



全く話が進みませんでした。



2016年にC型肝炎の院内拾い上げについて
提案しましたが・・・

プロジェクトが進まなかった理由
としては・・・



2016年にC型肝炎の院内拾い上げについて
提案しましたが・・・

プロジェクトが進まなかった理由
としては・・・

- ✓保険診療上の強制力がなかった。
- ✓現場ではこれ以上、業務を増やさな
いで欲しいという声が強かった。
- ✓肝炎は専門外なのでよく分からない。



一方で . . .



- **肝炎医療コーディネーター**（肝炎Co）の資格を持つ看護師、検査技師の方が院内でも徐々に増え、肝炎患者の支援及び啓発活動に対する意識は徐々に高まった。
- 第一回青森県医療安全講習会・**長谷部圭司先生**（医師・弁護士）の講演で、結果説明責任の重要性、訴訟リスク等の安全管理対策の必要性を理解した。



2023年8月18日 長谷部先生と健生病院医局Dr

長谷部先生の講演に感銘を受け、健生病院でも『**医療と法律**』をテーマに講演会を開催させていただきました。

2023年4月 健生クリニック肝臓外来開設

当院について

来院される方へ

診療科のご案内

医療関係の方へ

消化器内科：肝臓外来

肝臓外来のご紹介

肝臓外来では、ウイルス性肝炎・自己免疫性肝炎・脂肪肝・肝硬変・肝がんなどの肝疾患を対象として、肝臓専門医による専門性を高めた医療を提供します。

治療方針

- ・C型肝炎は、最新治療として飲み薬でウイルス排除可能となっており、対象者には積極的に治療を勧めています。最短で8週間、長くても12週間の内服治療で完治が期待できます。B型肝炎に対しては、その方の病状に合わせた治療を行っています。治療後は、肝がん発生を未然に防ぐよう定期検査を行っています。
- ・アルコール性肝硬変に対しては、受診毎に飲酒量を確認し、必要であれば減酒薬処方を行っております。場合により、精神科医との連携を取りながら治療を行っています。
- ・肝がんに対しては、最善で標準的な治療を提案しています。ラジオ波焼灼療法やカテーテルによる肝動脈化学塞栓療法が必要であれば弘前大学医学部附属病院に紹介をしています。手術や化学療法であれば当院で治療を行っています。治療後のフォローは当外来で行っています。
- ・一般内科や開業医より、原因不明の肝障害、自己免疫性肝炎（AIH）や原発性胆汁性胆管炎（PBC）などの治療困難な症例の紹介を積極的に受け入れています。
- ・肝炎医療コーディネーター（計6名）が在籍しており、肝炎患者および肝炎検査陽性者の受診の勧めや、適切な肝炎医療および支援を受けられるよう活動しています。

肝臓専門外来のホームページを作成

肝臓専門外来スタッフと私



全員が肝炎コーディネーターの資格を持っています

肝臓専門外来での診療内容

肝障害精査

ウイルス性肝炎
(HBV、HCV)
の治療

肝硬変治療

アルコール性
肝疾患の治療

肝細胞癌の治療

奈良宣言

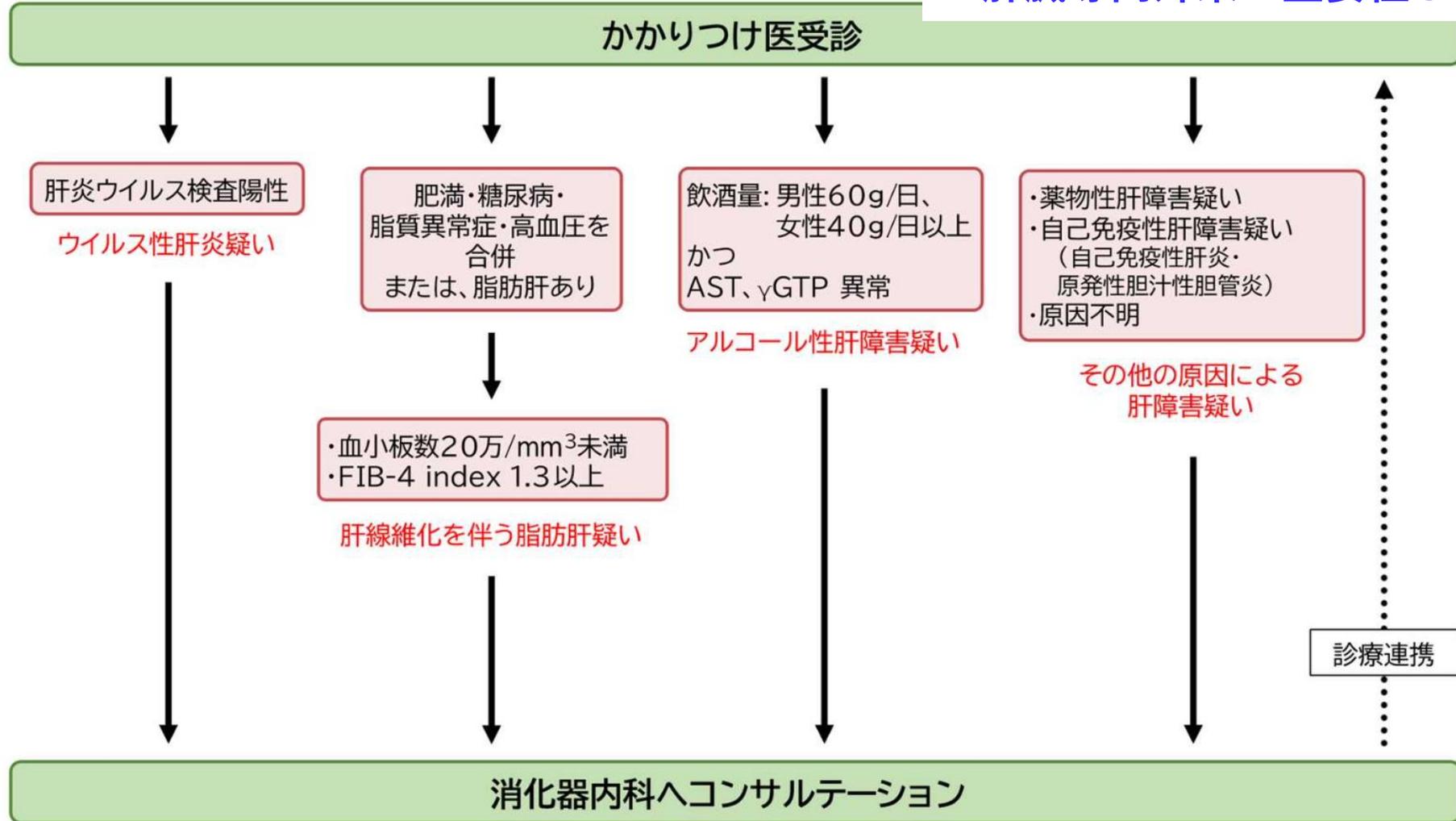
- 2023年6月に日本肝臓学会が「奈良宣言」を発表しました。
- この宣言では肝炎ウイルスや脂肪肝、アルコール、免疫異常等さまざまな原因により生じる肝臓の慢性炎症状態を「CLD」と定義しています。
- **ALT>30が正常からの逸脱を意味し、CLD診断の糸口とするように広く呼びかけています。**



健康診断など

ALT > 30

これまで日本人間ドック学会の基準では
ALT > 50が**要精査**とされており、受診患者
数の増加が予想される
→**肝臓専門外来の重要性がさらに高まる**



医療機関名	所在地	電話番号
青森県立中央病院	青森市東造道2-1-1	017-726-8111
青森市民病院	青森市勝田1-14-20	017-734-2171
独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター	弘前市富野町1	0172-32-4311
黒石市国民健康保険黒石病院	黒石市北美町1-70	0172-52-2121
八戸市立市民病院	八戸市田向字毘沙門平1	0178-72-5111
八戸赤十字病院	八戸市田面木字中明戸2	0178-27-3111
つがる西北五広域連合つがる総合病院	五所川原市字岩木町12番地3	0173-35-3111
十和田市立中央病院	十和田市西十二番町14-8	0176-23-5121
三沢市立三沢病院	三沢市大字三沢字堀口164番地65号	0176-53-2161
むつ総合病院	むつ市小川町1-2-8	0175-22-2111
津軽保健生活協同組合健生病院	弘前市扇町2丁目2-2	0172-55-7717
津軽保健生活協同組合健生クリニック	弘前市扇町2丁目2-12	0172-55-7707

医療機関名	所在地	電話番号
青森県立中央病院	青森市東造道2-1-1	017-726-8111
青森市民病院	青森市勝田1-14-20	017-734-2171
独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター	弘前市富野町1	0172-32-4311
黒石市国民健康保険黒石病院	黒石市北美町1-70	0172-52-2121
八戸市立市民病院	八戸市田向字毘沙門平1	0178-72-5111
八戸赤十字病院	八戸市田面木字中明戸2	0178-27-3111
つがる西北五広域連合つがる総合病院	五所川原市字岩木町12番地3	0173-35-3111
十和田市立中央病院	十和田市西十二番町14-8	0176-23-5121
三沢市立三沢病院	三沢市大字三沢字堀口164番地65号	0176-53-2161
2024年4月1日～ 院	むつ市小川町1-2-8	0175-22-2111
津軽保健生活協同組合健生病院	弘前市扇町2丁目2-2	0172-55-7717
津軽保健生活協同組合健生クリニック	弘前市扇町2丁目2-12	0172-55-7707

番号	所在市町村	医療機関名	〒	所在地	電話
1	青森市	青森県立中央病院	030-0913	青森市東造道二丁目1-1	017-726-8111
2		青森市民病院	030-0821	青森市勝田一丁目14-20	017-734-2171
3	平内町	平内町国民健康保険平内中央病院	039-3321	平内町大字小湊字外ノ沢1-1	017-755-2131
4	弘前市	鳴海病院	036-8183	弘前市大字品川町19	0172-32-5211
5		弘前大学医学部附属病院	036-8203	弘前市大字本町53	0172-33-5111
6		弘前中央病院	036-8188	弘前市吉野町3番地の1	0172-36-7111
7		山形内科クリニック	036-8184	弘前市松森町124	0172-37-5811
8		独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター	036-8545	弘前市大字富野町1	0172-32-4311
9		津軽保健生活協同組合 健生病院	036-8104	弘前市扇町2丁目2-2	0172-55-7717
10	津軽保健生活協同組合 健生クリニック	036-8104	弘前市扇町2丁目2-12	0172-55-7707	
11	八戸市	八戸市立市民病院	031-8555	八戸市田向三丁目1番1号	0178-72-5111
12		八戸赤十字病院	039-1104	八戸市大字田面木字中明戸2番地	0178-27-3111
13		青森労災病院	031-0822	八戸市白銀町南ヶ丘1	0178-33-1551
14	南部町	国民健康保険南部町医療センター	039-0502	南部町大字下名久井字白山87-1	0178-76-2001
15	五所川原市	つがる西北五広域連合つがる総合病院	037-0074	五所川原市字岩木町12番地3	0173-35-3111
16	むつ市	むつ総合病院	035-0071	むつ市小川町一丁目2-8	0175-22-2111
17	十和田市	十和田市立中央病院	034-0093	十和田市西十二番町14-8	0176-23-5121

院内連携へ向けて

当院における2023年4月1日～2024年3月31日 肝炎検査実施状況の調査

	全件数	陽性者数（割合）
HBsAg	8157	240 (2.9%)
HCV抗体	7742	250 (3.2%)

- 未治療の肝炎患者が未だ多数存在し、治療介入可能な症例もあることから肝炎ウイルス陽性者への介入を病院全体として取り組むことになった。



肝炎Co (健生クリニック
肝臓専門外来看護師)



HST会議



肝炎Co (健生病院検査科)

- 2023年4月より院内で『**HST (Hepatitis treatment Support Team)**』を立ち上げ、**肝炎Coを中心とした**院内肝炎検査陽性者への介入していくことになった。
- 当院では肝炎Coは徐々に増え、2024年11月時点で10名（看護師 4名、検査技師 4名、医療事務 2名）が在籍している。

肝炎ウイルス陽性者拾い上げのスキーム



当院での肝炎検査プロトコール

検査技師

- 肝炎検査陽性者をリストアップ
- 陽性者の主治医へ電子カルテ通知、同時に追加検査必要の有無も通知

院内電子カルテの 通知システムを使用



検査科 肝炎Co

院内電子カルテの通知システム画面のスクリーンショット。通知内容は以下の通りです。

宛先： 田中 友浩（総診） 未確認
作成者： 柳谷 薫（検査室）

連絡内容

2024/06/10(月) 14:03 柳谷 薫（検査技）

既読 0

6月9日検査のHCV抗体陽性でした。確認後2週間以内に、追加検査のオーダーをお願いします。

連絡参照

連絡参照

宛先： 千葉 大輔（消内） 確認済
作成者： 柳谷 薫（検査室）

連絡内容

2024/06/05(水) 10:41 柳谷 薫（検査技）

既読 1

6月4日検査のHCV抗体陽性でしたが、2024年5月16日のPCR検査で陽性確認済みのため追加検査は不要です。

当院での肝炎検査プロトコール

検査技師

- 肝炎検査陽性者をリストアップ
- 陽性者の主治医へ電子カルテ通知、同時に追加検査必要の有無も通知

病棟NS、DA※

- 肝炎検査陰性者には陰性結果説明用紙を配布する

※ 医師事務作業補助者

肝炎ウイルス検査の結果について

厚生労働省からの依頼により、肝炎ウイルス関連検査を行った場合には、検査の結果が陰性であった場合も含め、検査結果について適切に説明することとしています。

ID : _____ 氏名 _____

肝炎ウイルス検査の結果は下記の通りです。

検査結果

検査日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

HBs 抗原検査 (B型肝炎ウイルス検査) : — 未検査

HCV 抗体検査 (C型肝炎ウイルス検査) : — 未検査

今回の検査では、肝炎ウイルスに感染している可能性は低いと判定されました。全身倦怠感や肝機能異常が見られた場合は、念の為再検査をお勧めします。

陰性結果説明用紙

DAが陰性結果説明用紙を速やかに配布



当院での肝炎検査プロトコール

検査技師

- 肝炎検査陽性者をリストアップ
- 陽性者の主治医へ電子カルテ通知、同時に追加検査必要の有無も通知

病棟NS、DA

- 肝炎検査陰性者には陰性結果説明用紙を配布する

主治医

- 肝炎検査陽性者にHBV DNAもしくはHCV RNA検査をオーダーする

当院での肝炎検査プロトコール

検査技師

- 肝炎検査陽性者をリストアップ
- 陽性者の主治医へ電子カルテ通知、同時に追加検査必要の有無も通知

病棟NS、DA

- 肝炎検査陰性者には陰性結果説明用紙を配布する

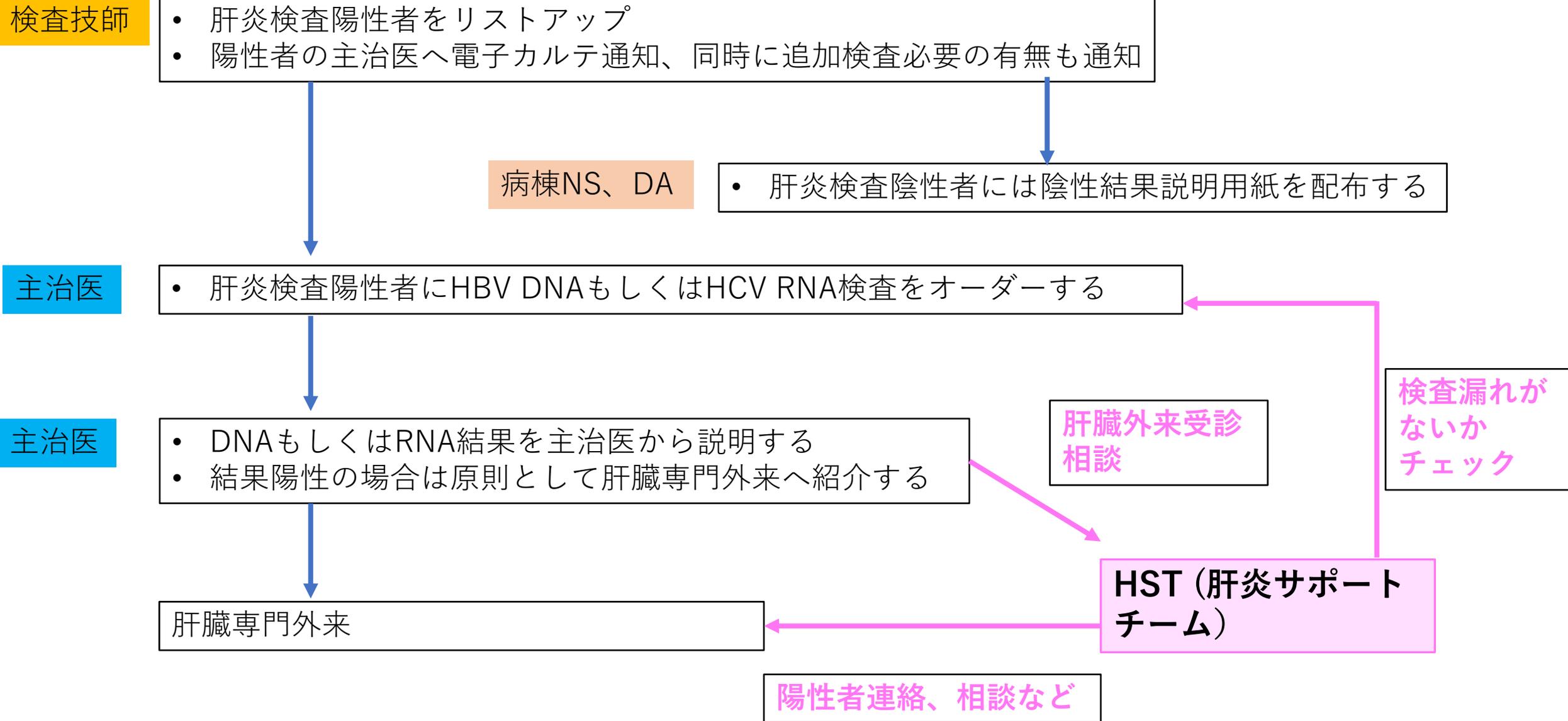
主治医

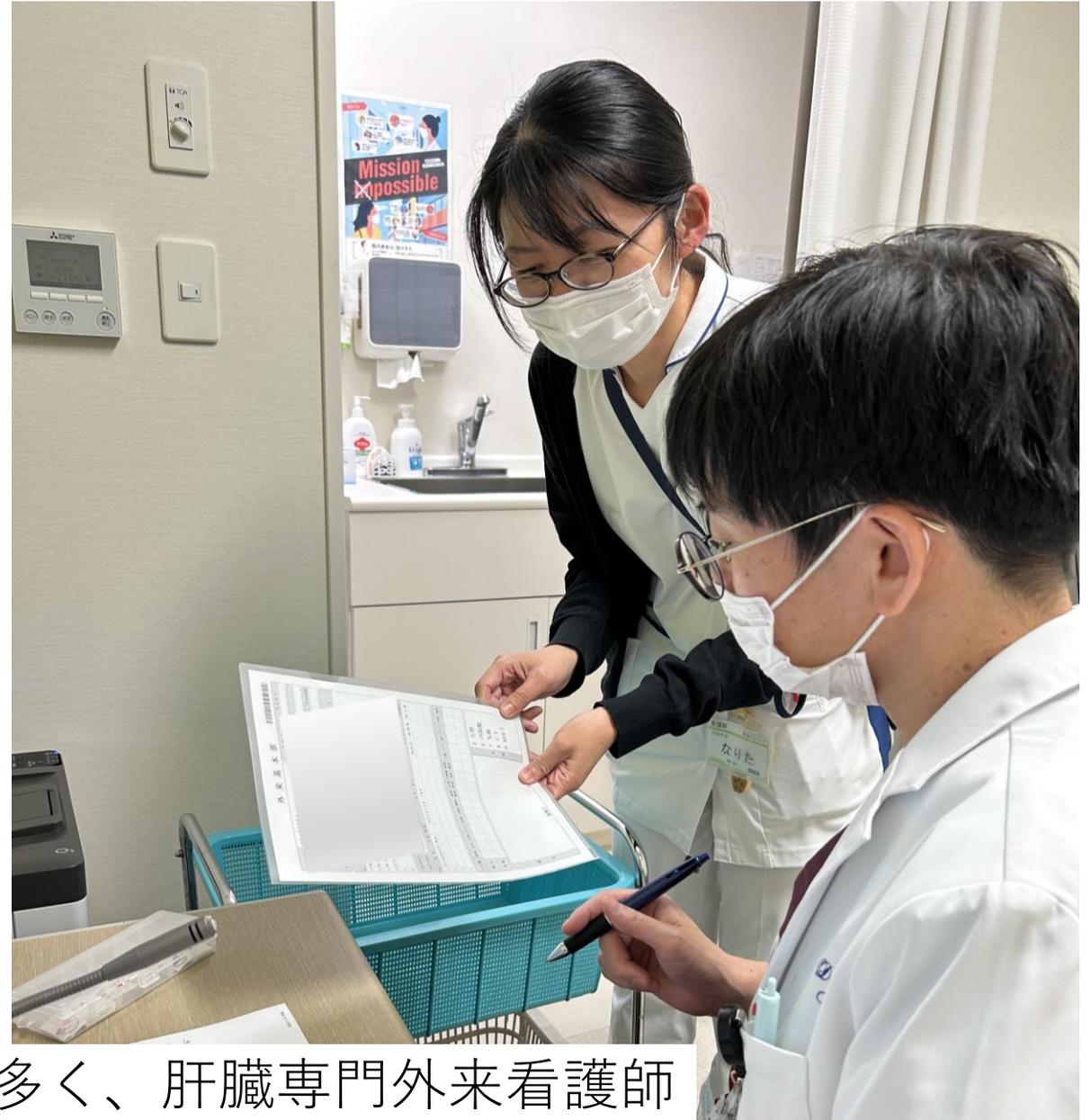
- 肝炎検査陽性者にHBV DNAもしくはHCV RNA検査をオーダーする

主治医

- DNAもしくはRNA結果を主治医から説明する
- 結果陽性の場合原則として肝臓専門外来へ紹介する

当院での肝炎検査プロトコール





他科からの問い合わせは非常に多く、肝臓専門外来看護師は職種間・診療科の橋渡しの役割も担っている

開始6ヶ月(2024.5.13~11.12) の集計

	全件数	陽性者数 (割合)
HBsAg	3293	88 (2.7%)
HCV抗体	3222	133 (4.1%)

部門	肝臓	内科 外来 ※	消内 病棟	外科	総合 診療	産婦 人科	小児 科	内科 病棟	整形 外科	ER	リハ ビリ	緩和 ケア	往診
HBsAg	10	43	1	9	3	0	0	3	4	15	0	0	0
HCV抗 体	3	36	4	17	11	2	0	2	6	50	1	0	1

※循環器専門外来、糖尿病専門外来、消化器内科外来、
免疫外来、一般外来

開始6ヶ月(2024.5.13~11.12) の集計

	全件数	陽性者数 (割合)
HBsAg	3293	88 (2.7%)
HCV抗体	3222	133 (4.1%)

救急外来での陽性者が多い

部門	肝臓	内科 外来 ※	消内 病棟	外科	総合 診療	産婦 人科	小児 科	内科 病棟	整形 外科	ER	リハ ビリ	緩和 ケア	往診
HBsAg	10	43	1	9	3	0	0	3	4	15	0	0	0
HCV抗 体	3	36	4	17	11	2	0	2	6	50	1	0	1

※循環器専門外来、糖尿病専門外来、消化器内科外来、
免疫外来、一般外来

HBsAg検査 (2024.5.13～ 11.12)

院内データ

HBsAg検査数 3293例



HBsAg陽性者数 88例
88/3293 (2.7%)

HBsAg検査 (2024.5.13～ 11.12)

検査技師より追加検査
の依頼

HBsAg検査数 3293例

HBsAg陽性者数 88例
88/3293 (2.7%)

追加検査対象者数 32例
32/88 (36.4%)

検査技師が過去検査歴・通院歴を確認し、
追加検査は不要であると連絡

現在治療中もしくは経過観察中 56例
56/88 (63.6%)

HBsAg検査 (2024.5.13～ 11.12)

HBsAg検査数 3293例

HBsAg陽性者数 88例
88/3293 (2.7%)

追加検査対象者数 32例
32/88 (36.4%)

HBV DNA検査あり 24例
24/32 (75.0%)

検査技師が過去検査歴・通院歴を確認し、追加検査は不要であると連絡

現在治療中もしくは経過観察中 56例
56/88 (63.6%)

HBV DNA検査なし※ 8例
8/32 (25%)
※通知無視

検査技師より追加検査の依頼

7割以上の症例で追加検査が実施

HBsAg検査 (2024.5.13~ 11.12)

HBsAg検査数 3293例

HBsAg陽性者数 88例
88/3293 (2.7%)

検査技師が過去検査歴・通院歴を確認し、
追加検査は不要であると連絡

現在治療中もしくは経過観察中 56例
56/88 (63.6%)

検査技師より追加検査
の依頼

追加検査対象者数 32例
32/88 (36.4%)

HBV DNA検査なし※ 8例
8/32 (25%)
※通知無視

7割以上の症例で
追加検査が実施

HBV DNA検査あり 24例
24/32 (75.0%)

HBV DNA 1.0~3.3LogIU/mL 20例
20/24 (84.3%) 20/3293 (0.6%)

HBV DNA 3.3 LogIU/mL以上 4例
4/24 (16.7%)

原則 肝臓専門外来へ

HBsAg検査 (2024.5.13~ 11.12)

HBsAg検査数 3293例

HBsAg陽性者数 88例
88/3293 (2.7%)

検査技師が過去検査歴・通院歴を確認し、
追加検査は不要であると連絡

現在治療中もしくは経過観察中 56例
56/88 (63.6%)

検査技師より追加検査
の依頼

追加検査対象者数 32例
32/88 (36.4%)

HBV DNA検査なし※ 8例
8/32 (25%)
※通知無視

7割以上の症例で
追加検査が実施

HBV DNA検査あり 24例
24/32 (75.0%)

HST介入が必要な症例

HBV DNA 1.0~3.3LogIU/mL 20例
20/24 (84.3%) 20/3293 (0.6%)

HBV DNA 3.3 LogIU/mL以上 4例
4/24 (16.7%)

原則 肝臓専門外来へ

HBsAg検査 (2024.5.13~ 11.12)

HBsAg検査数 3293例

HBsAg陽性者数 88例
88/3293 (2.7%)

検査技師が過去検査歴・通院歴を確認し、
追加検査は不要であると連絡

現在治療中もしくは経過観察中 56例
56/88 (63.6%)

検査技師より追加検査
の依頼

追加検査対象者数 32例
32/88 (36.4%)

HBV DNA検査なし※ 8例
8/32 (25%)
※通知無視

7割以上の症例で
追加検査が実施

HBV DNA検査あり 24例
24/32 (75.0%)

HST介入が必要な症例

HBV DNA 1.0~3.3LogIU/mL 20例
20/24 (84.3%) 20/3293 (0.6%)

HBV DNA 3.3 LogIU/mL以上 4例
4/24 (16.7%)

非活動性キャリア
説明用紙配布を
検討中

原則 肝臓専門外来へ

HCV抗体検査 (2024.5.13～ 11.12)

HCV抗体検査数 3222例



HCV抗体陽性者数 133例
133/3222 (4.5%)

院内データ

HCV抗体検査 (2024.5.13～ 11.12)

検査技師より主治医へ
追加検査の依頼

HCV抗体検査数 3222例

HCV抗体陽性者数 133例
133/3222 (4.5%)

追加検査対象者数 81例
81/133 (60.9%)

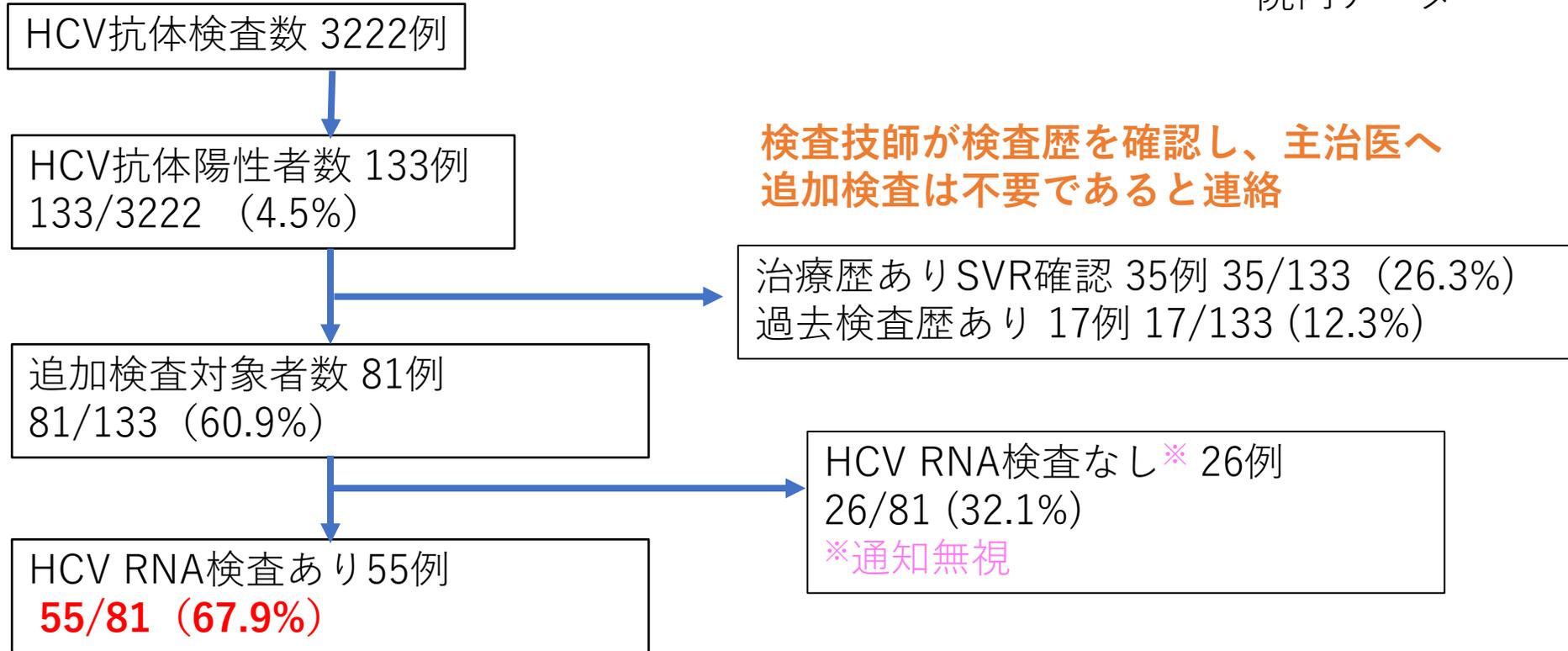
検査技師が検査歴を確認し、主治医へ
追加検査は不要であると連絡

治療歴ありSVR確認 35例 35/133 (26.3%)
過去検査歴あり 17例 17/133 (12.3%)

HCV抗体検査 (2024.5.13～ 11.12)

検査技師より主治医へ
追加検査の依頼

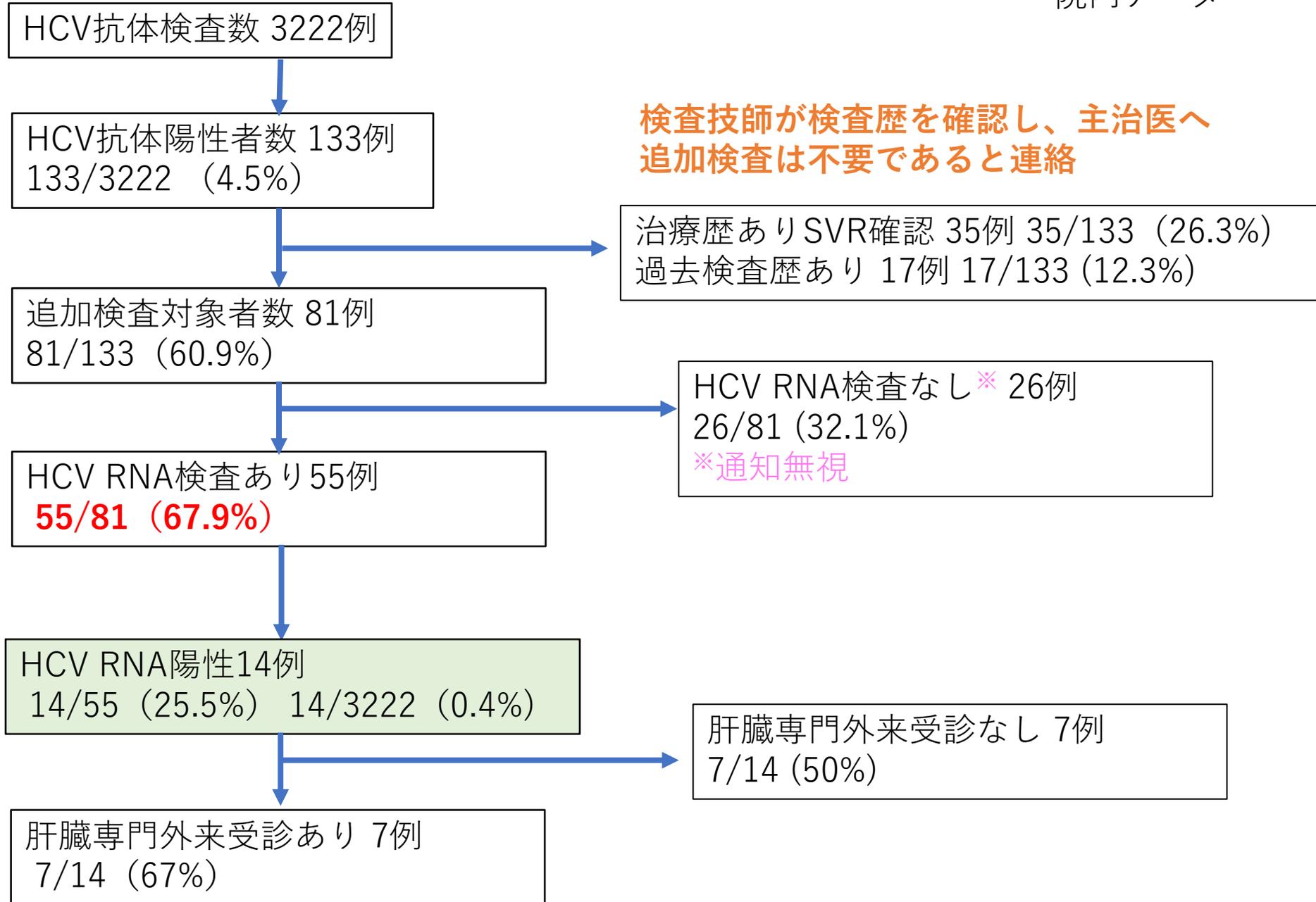
6割以上の症例で
追加検査が実施



HCV抗体検査 (2024.5.13～ 11.12)

検査技師より主治医へ
追加検査の依頼

6割以上の症例で
追加検査が実施



HCV抗体検査 (2024.5.13～ 11.12)

検査技師より主治医へ
追加検査の依頼

6割以上の症例で
追加検査が実施

HCV抗体検査数 3222例

HCV抗体陽性者数 133例
133/3222 (4.5%)

検査技師が検査歴を確認し、主治医へ
追加検査は不要であると連絡

治療歴ありSVR確認 35例 35/133 (26.3%)
過去検査歴あり 17例 17/133 (12.3%)

追加検査対象者数 81例
81/133 (60.9%)

HCV RNA検査なし※ 26例
26/81 (32.1%)
※通知無視

HST介入が必要な症例

HCV RNA検査あり 55例
55/81 (67.9%)

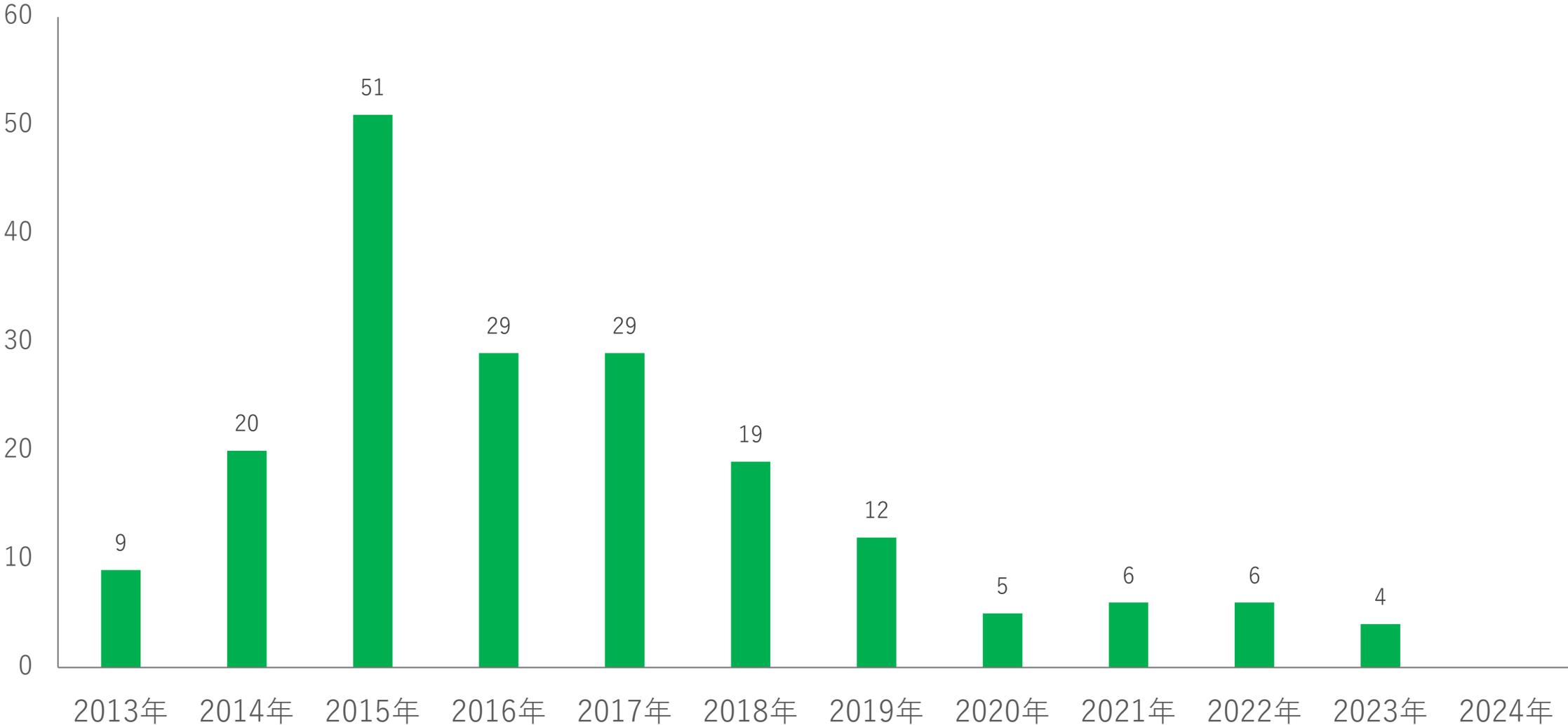
HCV RNA陽性14例
14/55 (25.5%) 14/3222 (0.4%)

肝臓専門外来受診なし 7例
7/14 (50%)

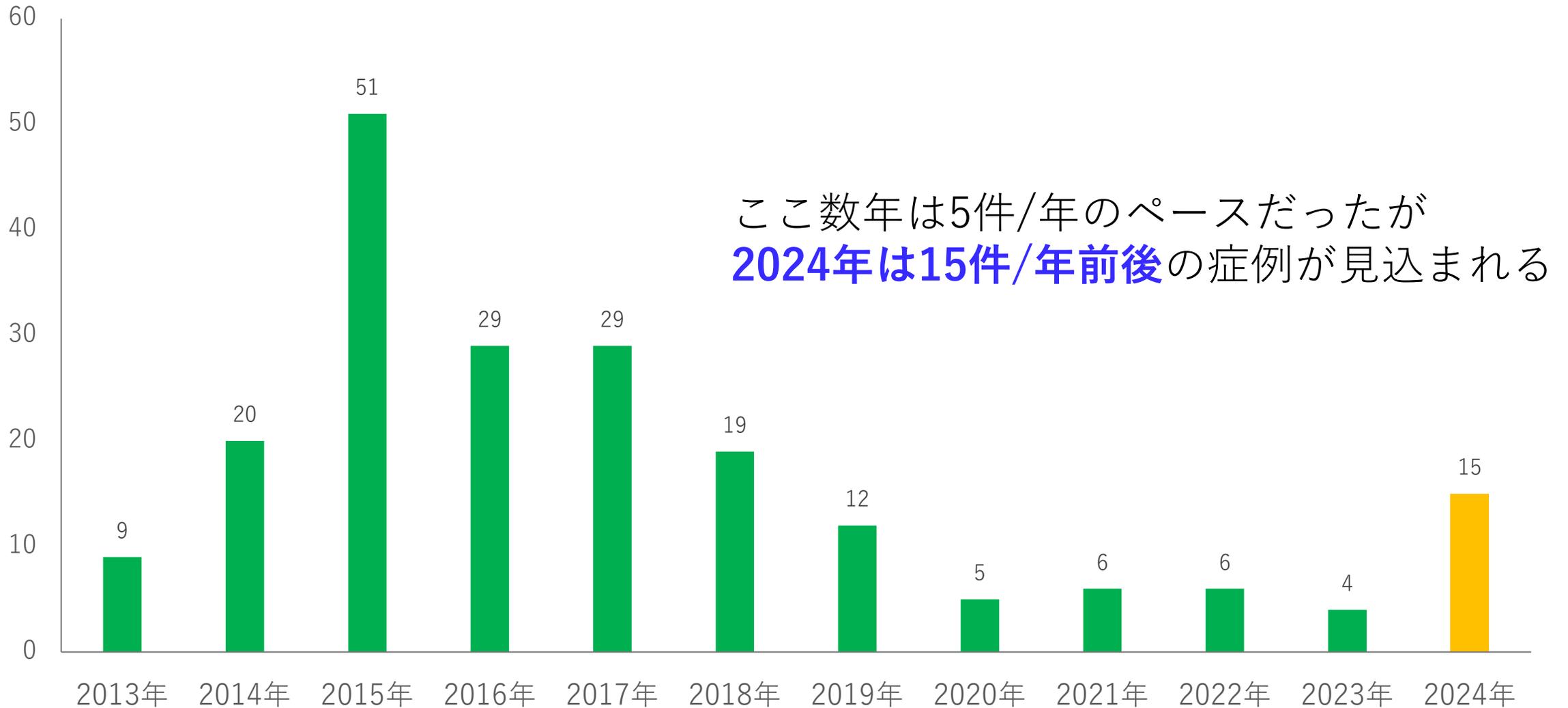
HST介入が必要な症例

肝臓専門外来受診あり 7例
7/14 (67%)

HCV治療症例数



HCV治療症例数



肝炎陽性者拾い上げ取り組み を通じて

- 病院内全体で**HBsAg陽性者に対して75%、HCV抗体陽性者の約67%**で追加検査が行われていた。
- HBVに対する対応率が高いのはHBV再活性化リスクの知識が普及していることが大きいと思われる※ ※朝井 章他. 肝臓 2024; 65(7):318-326
- **通知慣れ、アラート慣れ**は今後も当然予想される。
- 肝炎検査陰性症例にもわざわざ説明する必要があるのかというスタッフからの声は多く、**医療従事者に対する継続的な啓発活動も必要**であると考える。



肝炎陽性者拾い上げ 取り組みを通じて

- 開始初期は肝炎陽性者拾い上げの意図が医師に十分伝わらず、通知無視などの非協力的な事が多かったが、**現在はそのような事が非常に少なくなった**（逆に医師から検査科へ労いや感謝のメッセージも増えた）。
- 電子カルテの通知だけではなく、**定期的なHSTニュース**、病院長名義の文書、講習会、研究会を通じた効果が非常に大きい。
- 検査科・肝炎Coは「**陽性・陰性**」の機械的な通知のみではなく、過去の治療歴や検査歴を掘り下げ、通知の精度を高める事を検討。
- 短期間で**重複した肝炎検査実施例**が予想外に多く、対策が必要。





HST ニュース

2024/12/**発行

NO.3

HST (Hepatitis Support Team) とは・・・

肝炎ウイルス陽性者拾い上げシステムの構築のため、医師・看護・検査・事務など他職種が一体となり結成されたチームです！

肝炎ウイルス陽性者の拾い上げと結果説明が始まり、約半年が経ちました。関係各所の皆さん、日頃からのご協力ありがとうございます！



チームリーダー
千葉 大輔医師

肝炎ウイルス検査について、HSTの活動実績を報告します！

2024.5.13 ～2024.11.12	検査数	陽性者数 (陽性率)	追加検査 対象者数	追加検査 実施した例
HBs	3293	88(2.7%)	32	24
HCV	3222	133(4.1%)	81	55

肝炎ウイルス陽性者の拾い上げと結果説明により、受診や治療への介入につながっています。

介入につながりました！

今後介入例を増やすため、各スタッフ一丸となって頑張りましょう！

※検査オーダーについて

連日にわたり感染症検査をしている患者さんが一定数いることが、HST活動を通して改めて浮き彫りになりました(ER経由の入院時採血等)。検査コスト削減にもつながるため、過去の検査結果とオーダーの確認もぜひお願いします。

目指せ！肝炎撲滅！！

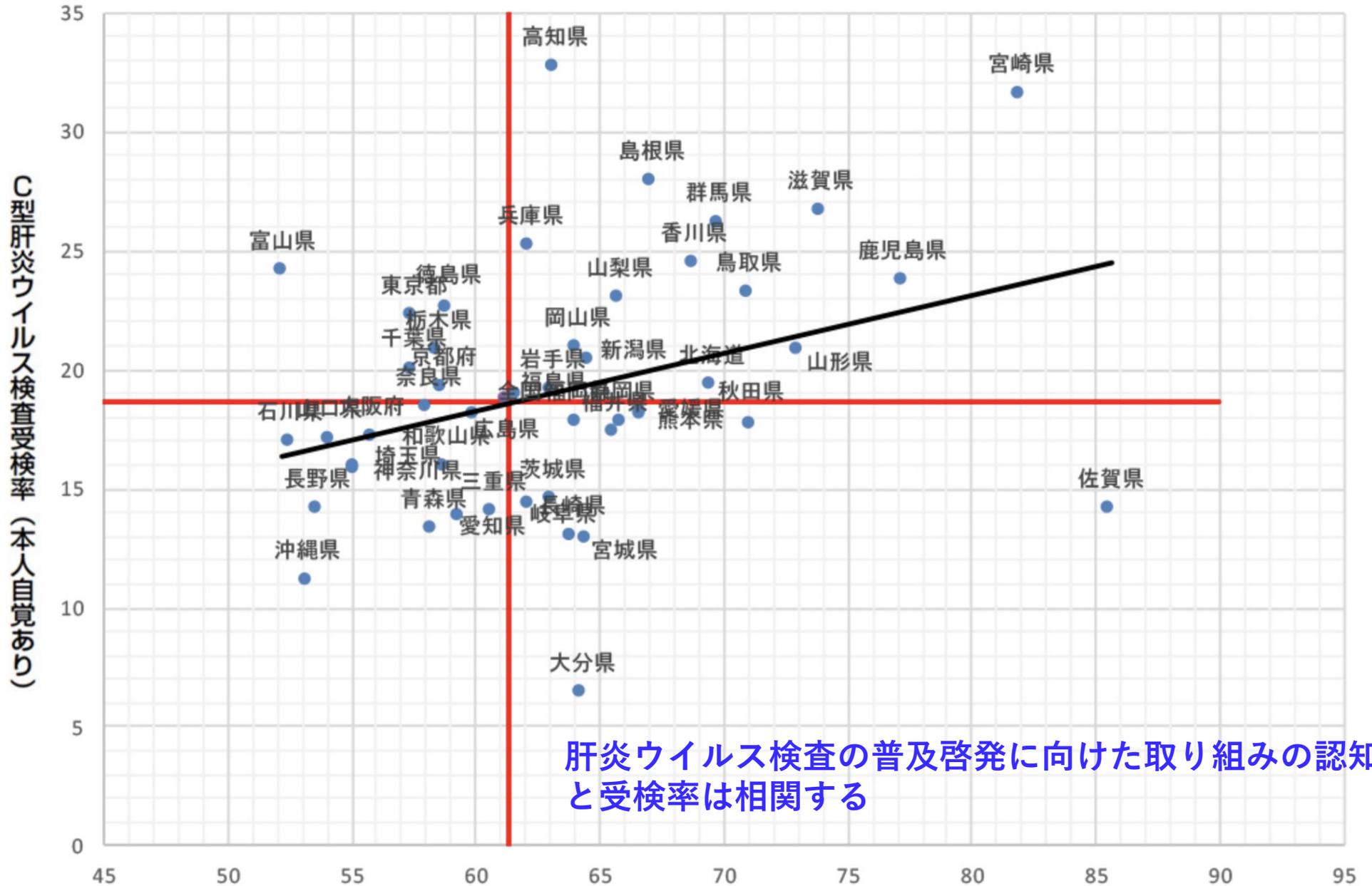


検査科
HSTメンバー

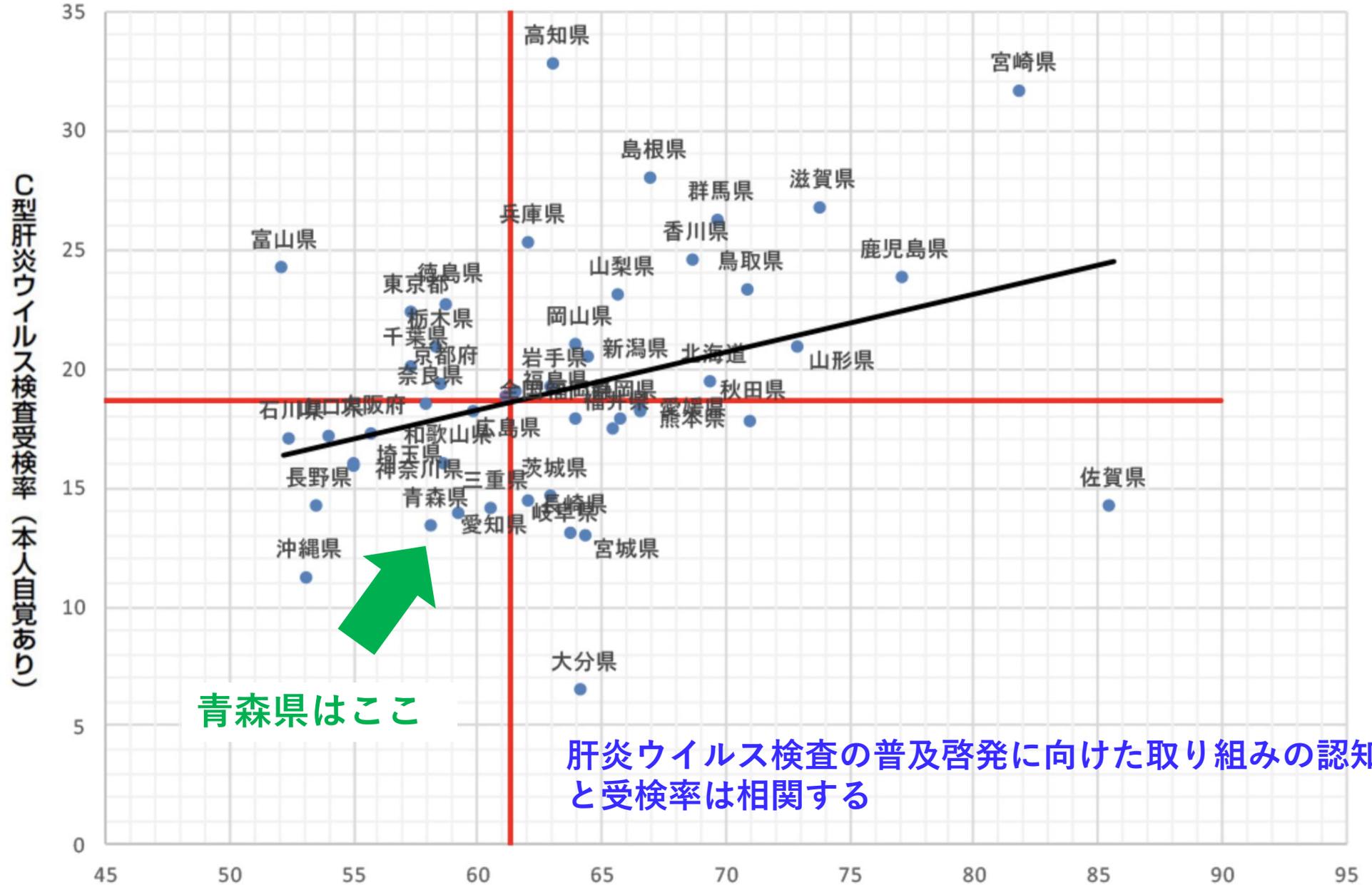


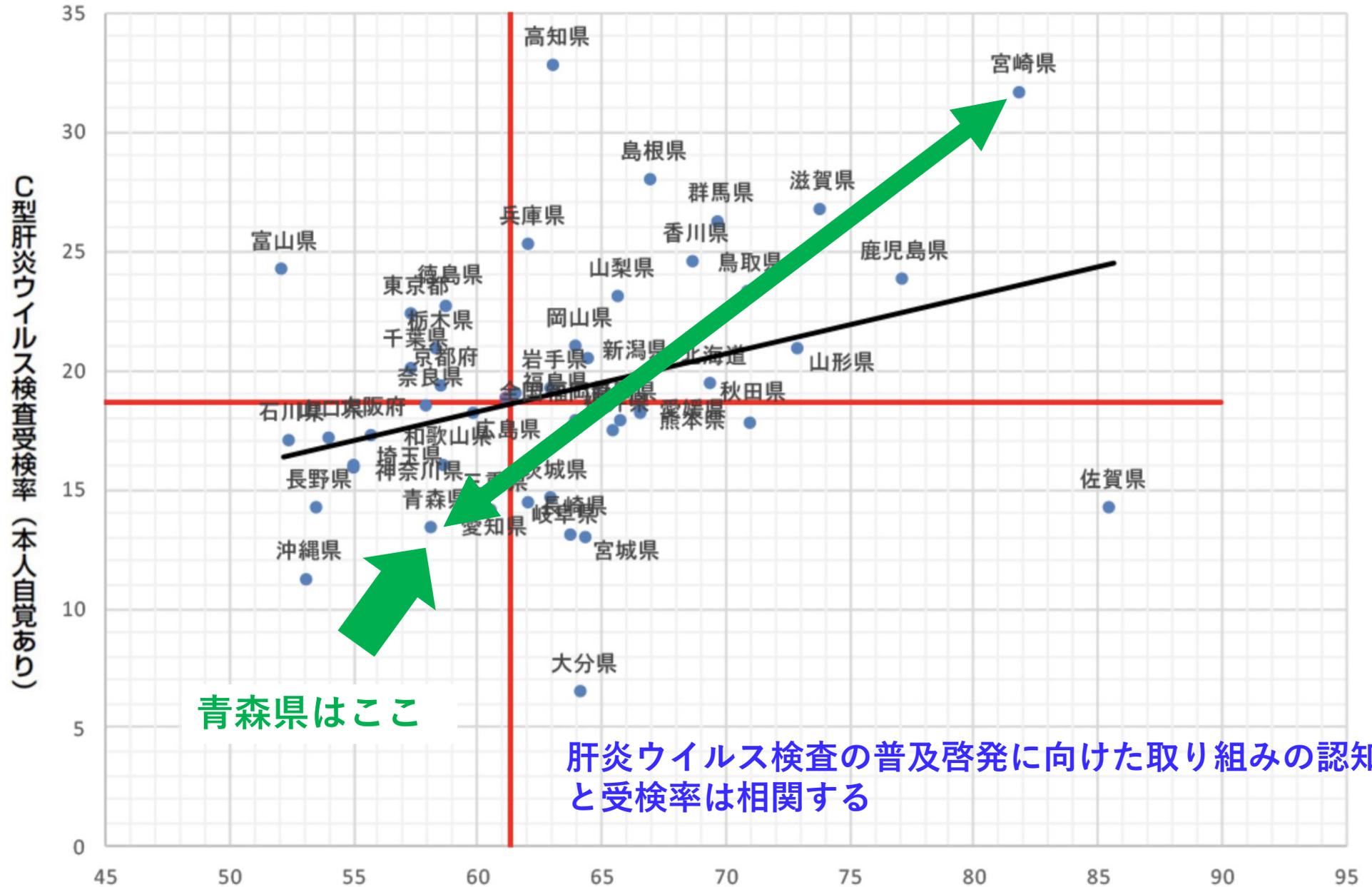
HST チーフマネージャー
肝炎コーディネーター
小田桐 由美子NS
(クリニック内科主任)

HSTメンバーにより定期的な『**HST ニュース**』を発行しており、病院内スタッフへ肝炎活動の啓発を行っています。



肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取り組みの認知率と受検率は相関する





青森県全体での啓発活動を提案

- 個人や病院単位での啓発活動はもちろん重要ですが、限界があることも今回改めて痛感しました。
- 青森県全体での啓発活動が望まれます。
- 肝疾患連携拠点病院である弘前大学を中心に、各地域に配置されている専門医療機関でテレビコマーシャル、インターネットやSNSを通じた動画などを作成してPRしていくことを提案したい。



肝炎コーディネーターの役割

- ① 肝炎ウイルス未治療症例の拾い上げ
- ② 院内や地域での肝疾患に関する啓発活動
- ③ 患者からの相談対応および情報提供
- ④ 薬剤や栄養管理のサポート
- ⑤ 肝疾患に関する助成制度紹介と申請補助



- **職種ごとの領域に応じた肝炎に関する情報の提供**
- **受診・受検の促進に向けた啓発活動が期待される。**
- **長期的にはウイルス性肝炎以外の幅広い分野での活躍も（私見）。**

ご清聴ありがとうございました。

謝辞

本発表にあたり、データや画像、スタッフの協力を取りまとめて下さった、健生クリニック看護師・小田桐由美子主任、健生病院検査科・小鹿猛技師長、このような機会を与えて下さった青森県庁がん・生活習慣病対策課・小川真理子主幹に心から感謝申し上げます。



「肝炎すごろく」に集中する
メンバー



HSTメンバー



健生病院・健生クリニック